

素敵な教職員の皆さんに、ONとOFFのスマートスタイルについてお聞きしていきます。

リレーでつなぐ ワーク・ライフ・バランス

work life balance

vol.13

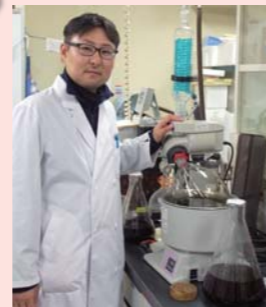
私は一昨年9月に富山大学に参りました。もうすぐ富山に来て約1年半が過ぎようとしています。また、社会人となって早10年が過ぎました。これまでを振り返り、私のワーク・ライフ・バランスを考えてみますと、仕事に偏っている状況が続いていると感じます。特に大学に移ってから特にそう感じていて、突発的に発生する仕事や、不慣れな雑務系の仕事、その他こまごまとしたことなどで、気が散っているのが一つの要因かなと考えているところです。集中力を高めて、もっと器用に、効率よく仕事を進め、ワーク・ライフ・バランスを高めなければと感じている毎日です。

以前、大学の支援を受けて、短期留学させていただいたことがあります。ドイツとフランス国境にあるザールブリュッケンという小さな町のザールランド大学に3か月滞在しました。受け入れてくれた研究室は総勢約60名で、テクニシャン(技術補助員)が15名ほどいるビッグラボでした。そこでは、専門性をもつ多数のテクニシャン・事務員がいるおかげで、研究員が文字通り研究に専念できる夢のような大変恵まれた環境で、高インパクトファクターの論文もどんどん出るアクティビティの高い研究室でした。さぞ厳しいラボだろうと予想していましたが、研究を遅くまでバリバリやるという日本の雰囲気とは少し異なり、日中はしっかり集中して研究し、日が暮れてしばらくすると大半の人が帰宅している状況でした。ドイツではほとんどのお店が8時に閉まってしまいます。日本のコンビニのような店もほとんどないため、食事のなどを考えるとそうせざるを得ない状況とも考えられます。もちろん毎日早く帰っているわけではなく、研究の進み具合に応じて各個人の自由な時間も大切にしている、しかも高い論文生産性を実現していました。また、各個人がそれぞれの人生・生活を楽しんでいる様子もとても印象的でした。今思うと、これがワーク・ライフのバランスがうまく取れている状況なのかなと感じています。

話は変わりますが、ワーク・ライフ・バランスでいう“ライブ”とは、俗にいう

和漢医薬学総合研究所
准教授
富銘 一文

略歴
千葉大学薬学部卒、千葉大学医学部薬学
府博士課程修了、博士(薬学)取得。
2005年 日本メナード化粧品株式会社研究
員、2009年 千葉大学大学院助教を
経て、2014年より現職。専門分野:天然物
化学、生薬学



“育児”や趣味などの“私生活”をイメージする方が多いと思いますが、介護も重要なライフであることを本記事の準備中に再認識しました。今のところ、両親とも元気なので差し迫ったことはありません。しかし私の場合、両親が故郷沖縄に住んでいることもあり、近い将来、介護が必要な状況になると厳しい状況になることは避けられないと思っています。男女共同参画推進室でも介護コンシェルジュを配置し、相談・支援体制が整備されています。まだまだ先と思うことなく、もしもの状況に備えて、適切に対応できるようにいろいろと情報収集するとともに、家族と日ごろから相談しておくことが必要だと感じています。

休日には時々、富山県内のいろいろな土地へドライブをしています。口コミや、地元テレビで紹介されていた面白スポットをたずねたり、時にはあてもなくふらふらと出かけたりしています。一番のお気に入りは、冬の晴れた日の富山空港です。立山連邦の雄大なパノラマをバックに飛行機が飛び立つ瞬間は何度見てもワクワクして、飽きることがありません。富山県は雄大な自然が生み出す素晴らしい景色と、おいしい食材に恵まれていて、気分転換には素晴らしい環境だとつくづく感じています。この富山の大自然に触れて、うまく仕事のストレスをリフレッシュすることで、より良い研究、より良いワーク・ライフ・バランスを実現したいと思っています。

富山空港から飛び立ったばかりの飛行機
(神通川越しに撮影しました)



数字で見る 富山大学のいろいろ

富山大学教員の部局別・男女別・職階別現員数

右の表は、平成27年5月1日現在の富山大学教員の部局別・男女別・職階別現員数を表しています。女性比率では、文系と医学系が平均で20%に達し、理系は6%程度となっています。また、女性教員数を見ると、文系では教授と准教授が多く、助教はゼロです。理系では、教授、准教授、助教がほぼ同数となっています。医学系では、助教が半数以上を占めています。助教の教員には「ライフイベント復帰者へのスタートアップ支援」の対象者も多く含まれており、その効果が期待されます。

教員の部局別・男女別・職階別現員数 (平成27年5月1日) (単位:人)

系	部局	教授		准教授		講師		助教		助手		合計		女性比率(%)	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
文系	人文学部	25	10	21	6	0	0	0	0	0	0	46	16	62	25.8
	人間発達科学部	30	4	19	8	1	3	0	0	0	0	50	15	65	23.1
	経済学部	34	3	20	5	3	1	0	0	0	5	57	14	71	19.7
	芸術文化学部	19	0	15	3	6	4	1	0	0	0	41	7	48	14.6
	計	108	17	75	22	10	8	1	0	0	5	194	52	246	21.1
理系	理学部	38	2	24	2	4	0	7	1	0	0	73	5	78	6.4
	工学部	44	1	31	0	14	1	13	0	3	1	105	3	108	2.8
	薬学部	17	1	19	1	1	0	17	3	0	0	54	5	59	8.5
	和漢研	6	1	9	1	0	0	9	2	0	0	24	4	28	14.3
	計	105	5	83	4	19	1	46	6	3	1	256	17	273	6.2
医学系	医学科	41	0	22	7	5	1	66	22	1	1	135	31	166	18.7
	医学部看護学科	3	6	1	10	0	0	1	11	1	0	6	27	33	81.8
	合計	44	6	23	17	5	1	67	33	2	1	141	58	199	29.1
	附属病院	5	0	8	0	27	6	43	10	0	0	83	16	99	16.2
計	49	6	31	17	32	7	110	43	2	1	224	74	298	24.8	

平成27年度はダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)補助事業に採択され、男女共同参画推進室の関係するイベントが多数開催されました。このニュースレターでは多くのことを伝えるべく、編集メンバー一同努力していますが、紙面の都合上、お伝えできないこともたくさんあります。1ページに記載のとおり、本補助事業のホームページが開設されました。詳しいことが掲載されています。本ニュースレターと合わせてぜひご覧ください。

富山大学男女共同参画推進室News Letter編集メンバー
富銘一文 米川寛 市田路子 呉人恵 東田千尋 南村有輝子 須藤梨沙

発行
富山大学男女共同参画推進室

〒930-8555 富山市五福3190
E-mail smart@ctg.u-toyama.ac.jp
TEL 076-445-6146 / FAX 076-445-6063
URL http://www3.u-toyama.ac.jp/kyodoss/



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



富山大学男女共同参画推進室

News Letter

Office for gender equality, University of Toyama

TOPICS

- H27年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」学内公募採択結果
- キックオフ講演会 ■ 全学男女共同参画ワークショップ
- Smart Café ■ 活動報告 ■ 今注目の言葉
- ワーク・ライフ・バランス ■ 数字で見る富山大学のいろいろ

2016.3
第13号



「愛・思いやり」です
チューリップの花言葉は

事業報告

文部科学省H27年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」学内各公募事業採択結果

男女共同参画推進室とは別の審査委員会(7名)による厳正なる審査により、採択者を下記のように決定しました。

- ① 女性研究者の短期留学助成金:4件(米国 3名、スイス 1名)
- ② 女性研究者による国際シンポジウム企画・開催助成金:3件
1/30~31 経済学部 「国際ビジネスの法的地平を臨む」
2/14 人文学部 「日本語・日本語教育研究のグローバルな担い手たち」
3/28 大学院医学薬学研究部(医学)心理学 「How Humans Evolved Supersize Brains」
- ③ ライフイベント復帰者へのスタートアップ支援:10件
- ④ ライフイベント中の女性研究者への研究サポーター制度:11件
- ⑤ 休日保育及び病児・病後児保育の利用料補助制度:15件

※H28年度の本事業の学内公募は2月初旬~3月末までです。

要項については、
サイボウズガールーン →
各種様式・通知・議事録 →
男女共同参画推進室 からダウンロードできます。



お知らせ

本事業のロゴマークが、決定しました



Initiative for Realizing Diversity
in the Research Environment

ご案内

ダイバーシティ事業ホームページを開設しました

URL <http://www.diversity-u-toyama.jp/>



活動報告

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」キックオフ講演会 —大学躍進のチャンスとしての男女共同参画— が開催されました



本学が採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」;富山大学 国際型女性研究者育成プログラム」を推進するために、キックオフ講演会を開催しました。広島大学副学長の相田美砂子氏を講師にお招きし、「大学で男女共同参画推進が必要な理由-広島大学の事例紹介と将来展望-」の演題でご講演いただきました。広島大学の先進的な男女共同参画推進活動、女性研究者支援、若手研究者支援など多岐にわたる活動が紹介されたほか、学内の女性教員比率や学生の意識調査などの膨大なデータを徹底的に分析し、全学をあげた方針を定め、制度の改革を行ってこられた歩みをお話いただきました。

講演後、市田路子男女共同参画担当学長補佐より、採択事業の活動概要を説明し、本事業を大学躍進のチャンスとしたい旨のご挨拶がありました。

アンケートには「(相田先生が)最後におっしゃられた「環境を変える」ということに非常に感動した」や「論理的なご講演に説得力があった」といった声が寄せられ、大変有意義な講演会となりました。

- 開催日時:平成27年12月2日(水) 14:00~15:45
- 会場:五福キャンパス 黒田講堂会議室
- 対象:本学教職員・一般
- 参加者:51名

全学男女共同参画ワークショップ2015 「働きがいのある組織づくりに向けて:ワーク・エンゲイジメントに注目した新しいメンタルヘルス対策」が開催されました



「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」全学男女共同参画ワークショップ2015を開催しました。多くの職場で心のケアにあたる臨床心理士としても活躍の東京大学大学院 島津明人氏を講師にお招きしました。これまで行われてきたメンタルヘルス対策から一歩踏み込み、個人や組織のそれぞれの強みをのばしていくための方策がワーク・エンゲイジメントであるとご説明がありました。さらに先生がこれまで行ってこられたワーク・エンゲイジメントの好事例や、アメリカで行われているプログラム、親の働き方がどのように子供の情緒・行動に関連していくかなど、家庭と仕事のバランス、組織と個人の活性化について、最新の研究成果を交えてお話いただきました。

講義後は、6名ずつに分かれてグループワークを行いました。各参加者が所属する職場を働きがいのあるものにするためには何が必要か、各グループがお互いの職場の活性化を図るためにどのような活動を実施しているか、具体例のプレゼンテーションを行い、参加者は各グループの意見を共有しました。

- 開催日時:平成27年12月21日(月) 15:00~17:45
- 会場:五福キャンパス 黒田講堂会議室
- 対象:本学教職員・一般
- 参加者:47名

Smart Café

今年度のSmart Café 全5回が終わりました



林 夏生氏 平尾 隆氏 向 富士子氏 谷口 洋幸氏 村田 見氏

第1回 平成27年10月21日	日本の性的少数者(LGBTs)の「生きづらさ」と、今大学ができること	林 夏生氏 (富山大学人文学部准教授)
第2回 平成27年11月18日	家族介護って誰が担うものなの? ~年齢とジェンダーから紐解く家族介護者支援~	平尾 隆氏 (男性介護者の会「みやび」代表)
第3回 平成27年12月 9日	暴力で解決しない社会を目指して ~DVの実態からみえること~	向 富士子氏 (高岡DV被害者自立支援基金ハサバ代表)
第4回(延期開催) 平成28年 3月 9日	ジェンダーと国際法:女性差別撤廃条約の使い方	谷口 洋幸氏 (高岡法科大学准教授)
第5回 平成28年 2月 3日	「うつ」を人生を振り返る好機・転機とする	村田 見氏 (うつ心理相談センター所長)

平成27年度 研究サポーター制度 後期利用者決定 ~後期採択者は男性5名~

研究サポーター制度は、妊娠・出産・育児、又は介護と研究等の両立を支援する目的で、研究サポーターを女性研究者に配置し、本来の教育・研究活動に資することを目的としています。平成23年度からは、主として子の養育や介護等を担っている男性教員も支援の対象としています。

連携事業各種シンポジウム・セミナー・発表会に参加しました

平成27年度 大学等における男女共同参画推進セミナー
「男女共同参画の視点に立った大学のStrategy」

- 日 時:平成27年12月3日(木)~4日(金)
- 会 場:プラザエフ(12月3日)
国立女性教育会館(12月4日)
- 主 催:国立女性教育会館

HOKURIKU WOMEN RESEARCHERS' NETWORKシンポジウム
「未来に羽ばたく女性研究者」

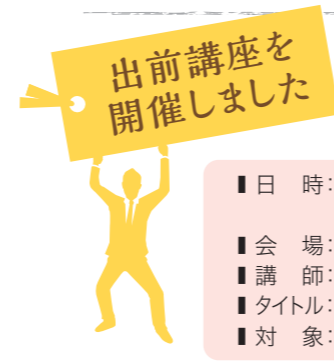
- 日 時:平成27年12月5日(土)
- 会 場:金沢歌劇座2階大集会室
- 主 催:金沢大学

平成27年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業シンポジウム
「科学技術人材育成 これまでの10年、これからの10年 人材育成について多様な立場から考える
—若手や女性がさらに輝くために、
産学官でなすべきことは何か—」

- 日 時:平成27年12月14日(月)
- 会 場:科学技術館サイエンスホール・イベントホール3、4号館
- 主 催:文部科学省

第3回煌めく女性リーダー塾発表会

- 日 時:平成28年2月19日(金) 13:30~17:00
- 会 場:富山県民共生センター サンフォルテ
- 主 催:富山県
- 発表者:第3期 塾生 総務部人事企画課 坂本 晶奈 係長



出前講座を開催しました

富山市男女共同推進センター出前講座
平成27年度 男女共同参画 サテライト講座大学等連携講座

- 日 時:平成28年1月7日(木) 5限 (佐藤裕教授「総合科目ジェンダー論」)
- 会 場:富山大学五福キャンパス
- 講 師:佐藤 千里 氏(一般財団法人女性労働協会前専務理事)
- タイトル:「女性活躍推進と働き方改革」
- 対 象:富山大学1年生(75名)

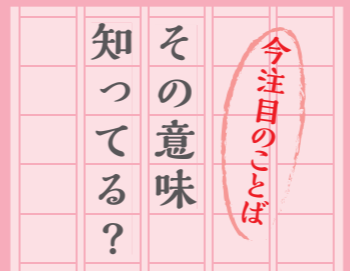
富山県出前講座
「男性の働き方改革セミナー」

- 日 時:平成28年1月21日(火) 3限 (船橋伸一特命教授「キャリア・デザイン論」)
- 会 場:富山大学五福キャンパス
- 講 師:小崎 恭弘 氏 (NPOファザーリング・ジャパン顧問)
- タイトル:「男性の子育てが社会を変える!」
- 対 象:経済学部2・3・4年生(約70名)



「世界と繋がる 英語による Eメール・コミュニケーション」

- 日 時:平成28年3月3日(木)~4日(金)
- 会 場:富山大学五福・杉谷キャンパス
- 対 象:本学教職員・大学院生
- 催 行:リンク サイエンス



第6回 イクボス

「イクボス」とは、育児に積極的に参加する男性を「イクメン」と呼ぶのにならって、イクメンの育児参加に対して理解のある経営者や上司のことを指して付けられた呼び名です。イクボスは、イクメンが仕事と育児を両立しやすいように、職場環境の整備に努めるなどのサポートをおこないます。

